

2022年度公益財団法人日本芸術協会奨学金 第2回活動報告書（2023/01/30）

村上祐介（indust-film、映画制作）

2020年から取り組んでいるドラマ「portrait(s)」の制作を引き続き行なっています。その中で、自身最大規模の30名の撮影を行いました。

また、8年ぶり4度目の上映会を開催しました。

奨学金対象者に選んでいただけただけの事、とても励みになっております。

ありがとうございます。

< 「portrait(s)」進捗報告：撮影継続中 >



セクシャルマイノリティ(LGBT)の多様な人が登場するドラマ「portrait(s)」を制作中です。2020年から制作がスタートした「portrait(s)」、子どもたちのシーンは都度都度撮影していたのですが、成長著しく、1ヶ月会うごとに背丈も大きくなってきていた為、一気に撮り切るべく、2022年は子供たちのパートの撮影をメインに行いました。

子どもたちのシーンは大きく分けて、「学校」「塾」「お泊まり会」があります。

「学校」のシーンの撮影では、6月にオーディション面談を行い、それを経て約30名の子役の皆さんに集まっていたいただき、自身最大規模の撮影を行いました。30名の生徒はエキストラではなく、全員に役名も台詞もあるため、脚本の段階でも生徒の個性が少しでも出るように一人一人の書き分けに苦労しました。撮影時も一人一人じっくり撮っていたので、かなり時間がかかってしまいましたが、その分、納得いくまで撮影が出来ました。どのようなシーンに仕上がるか今から楽しみです。



学校の撮影でお借りした場所は、初めて作った映画「カケラ」でお借りした場所でもありました。今回の撮影にあたり、15年以上前の撮影の事を担当の方にお伝えしたところ、担当の方は「覚えてます」と言ってくれました。小さな映画作りでも、続けていけば覚えていてくれる方がいるんだと、とても嬉しくなりました。

「塾」の撮影では、クライマックス部分を含む撮影を行いました。感情的なシーンなので丁寧に、大切に撮影を行いました。そこで改めて、役者さんの凄さを思い知りました。感情を高めていき、表現するというのは、自分には出来ない事をやってもらう訳なので、常にリスペクトを持って取り組まないといけないと改めて思いました。そして、撮っていて自分で感動する瞬間というのは、何物にも変えられない宝物の経験だと思いました。これを経験すると映画作りは辞められないです。良いシーンが撮れた実感があるので、早く観てもらいたいです。



「お泊まり会」のシーンは築約100年のお宅をお借りして、撮影を行いました。

このシーンは、思春期の男の子が夏休みに友達の家にお泊まりに行き、そこで思わずカミングアウトをするというシーンです。とても重要で外せないパートですが、思春期の性を描く部分も登場します。直接的な描き方ではないものの、センシティブなシーンでもあるので、事務所を通して演じる子にも細かくシーンの意図などを説明しました。恥ずかしさもあるであろう中で理解して演じてくれた事に本当に感謝しかないです。また、カレーを作って食べるシーンがあるのですが、たくさんのカレーを食べながら演じてもらいました。「お泊まり会」のシーンは約40分になる予定で、5日間かけて贅沢に撮影できました。コロナ禍にも関わらず、お宅を貸してくれた方にも本当に感謝しています。いろいろな方のお力添えで作品制作が成り立っているのを痛感しています。

< 「portrait(s)」 進捗報告：B5チラシを作成しました >



今を生きる、**セクシャルマイノリティ**の日常を描く物語



「portrait(s)」(ポर्टレイツ)は、現代の日本に生きるセクシャルマイノリティ(LGBT)の日常生活を描くドラマシリーズです。多様なキャラクターが登場する群像劇で、セクシャルマイノリティ当事者である制作陣が家族や会社、友人関係の中で日々感じていることを織り込み、実感を込めて描いた作品となっています。そして、セクシティのみならず、ジェンダーの問題や障害者についてなど幅広く人権を扱った作品を目指しています。現在YouTubeにて順次配信中です。

作品の事を広く知ってもらう為、また今後クラウドファンディングも予定している為、B5のチラシを作成しました。2022年の6月から出演者でデザイン業もされている都雄介さんと共同でデザインの作業を始め、いくつかの案を経て、12月によりやく完成しました。

出演者が積極的にチラシを配ったり、お店などに置いてもらったりしてくれているようで、そのおかげで視聴数が一気に増えてきました。



前回の報告時は第1話の視聴数が5万回弱だったのですが、現在25万回の視聴数で、他の話も伸びています。チラシのおかげで作品の事を知ってもらえたようなので、チラシを作って良かったです。引き続きたくさんの方に観てもらえるように、制作を頑張りたいと思います。

<上映会「indust-film GIG vol.4」を開催しました>

2022/12/9~11に8年ぶり、4度目の上映会を行いました。上映会告知のためのチラシを制作し、都内のミニシアターやギャラリーなどに置いていただきました。



集客はいつも苦労します。チラシも果たしてどれくらい効果があるものなのか、毎度感じられないままですが、今までで一番お客様に来てもらえました。ラインナップは長編4作品で、すべての作品に日本語字幕をつけて上映しました。現在制作、配信している事もあり、「portrait(s)」をきっかけにindust-filmのことを知ってくれたお客様が上映会にも来てくださり、他の作品も観てもらえた事が嬉しかったです。また、各作品のキャストが来てくれ、上映後のトークを行いました。撮影以来の再会の方もいて懐かしかったです。上映会はそうやって集まれる場としても貴重だと思いました。



2022年は撮影がメインで、新しい作品は1つしか公開できませんでした。けれど、事故なく、体調を崩して撮影を延期したり中止したりする事なく無事に1年を終えたのでよかったです。2023年も引き続き「portrait(s)」を制作し、新しい作品を公開していけるように頑張りたいと思います。

